

計画の概要	計画の成果指標(定量的指標)					
	成果目標	定量的指標	現況値	中間値	目標値	実績値
◎計画の期間：平成28年度～令和2年度(5年間) ◎計画の目標 ・新潟市みどりの基本計画に基づき、多様な市民ニーズに対応した公園施設整備を推進し、公園利用の促進を図る。 ・積極的な公共施設の緑化を通じて、温室効果ガスの吸収源対策を推進する。 ・公園施設長寿命化計画に基づく適正な維持管理の実施により、公園利用者の安全・安心を確保する。 ・新潟市立地適正化計画に基づき、人口減少や超高齢化社会への対応として、地域福祉や子育て支援に寄与する魅力ある都市公園の創出を行う。 ◎総事業費：約42億円	◎一人あたりの公園面積を8.5㎡/人(H28)から8.8㎡/人(R2)に増加	一人あたりの都市公園面積	8.5㎡/人(H28当初)	8.7㎡/人(H30末)	8.8㎡/人(R2末)	8.9㎡/人(R2末)
	◎供用開始年度における休日公園利用者数を赤塚公園で500人/日、寺山公園で1,400人/日を達成	供用開始年度の休日公園利用者数	0人/日(H28当初)	—	赤塚公園：500人/日(H29) 寺山公園：1,400人/日(H30)	赤塚公園：1,917人/日(H29) 寺山公園：2,320人/日(H30)
	◎温室効果ガス吸収源対策に資する緑地をR2年度までに10,762㎡増加、高木の植栽により3.8t-CO2/年のCO2を吸収	温室効果ガス吸収源対策に資する緑地増加面積	9,390㎡(H28当初)	—	10,762㎡(R2末)	11,240㎡(R2末)
		CO2吸収量	3.7t-CO2/年(H28当初)	—	3.8t-CO2/年(R2末)	5.6t-CO2/年(R2末)
	◎都市公園におけるトイレのバリアフリー化率を50%(H28)から58%(R2)に増加	都市公園におけるトイレのバリアフリー化率	50%(H28当初)	—	58%(R2末)	61%(R2末)
	◎公園施設長寿命化計画に基づく優先的に改築が必要な都市公園施設の改築完了率を0%(H28)から50%(R2)に増大	早期に改築が必要な都市公園施設の改築完了率	0%(H28当初)	20%(H30末)	50%(R2末)	55%(R2末)
	◎公園の管理状況に対して「よく管理されている」と評価する利用者の割合を43%(H28)から45%(R2)に増大	「よく管理されている」と評価する利用者の割合	43%(H28当初)	44%(H30末)	45%(R2末)	47%(R2末)
	◎地域ニーズに対応した施設の適正化及び機能再編を行う都市公園の整備率を0%(H30)から25%(R2)に増大	施設の適正化及び機能再編を行う都市公園の整備率	0%(H30末)	—	25%(R2末)	100%(R2末)

○基幹事業(6事業)

- A-1 都市公園事業(赤塚公園)
- A-2 都市公園事業(寺山公園)
- A-3 新潟市緑地環境事業
- A-4 新潟市都市公園安全・安心対策事業
- A-5 新潟市都市公園ストック再編事業
- A-6 新潟市グリーンインフラ活用型都市構築支援事業

○効果促進事業(2事業)

A-1：都市公園事業(赤塚公園) A=23.0ha
C-1：効果促進事業(施設整備)

H29年度供用開始
〔計画平面図〕 (一部供用A=10.7ha(見込み))

A-2：都市公園事業(寺山公園) A=4.6ha
C-1：効果促進事業(施設整備)

H30年度供用開始
〔計画平面図〕

A-3：新潟市緑地環境事業
A-6：新潟市グリーンインフラ活用型都市構築支援事業

〔やすらぎ堤緑地〕 〔白新緑公園〕

A-4：新潟市都市公園安全・安心対策事業
(都市公園安全安心対策緊急総合支援)

〔改築前〕 ※トイレのバリアフリー化 〔改築後〕

A-5：新潟市都市公園ストック再編事業
(都市公園の機能の再編(子育て支援等))

〔整備後〕